

令和3（2021）年度 年報

- 企画展
 - ・古径と院展の作家たち
 - ・生誕90年 岩野勇三彫刻展－人間へのまなざし－
 - ・市制施行50周年・小林古径記念美術館開館1周年記念「永青文庫所蔵近代日本画名品展」
 - ・コレクション展「白の世界」
 - ・上越市美術展覧会 第50回記念企画特別展
- 教育普及事業
- 作品収集・保管・管理事業
- 調査研究事業等
- 広報活動等

(1) 企画展の概要

展覧会名：古径と院展の作家たち

会 期：令和3年4月1日（木）～6月20日（日） 73日間

会 場：小林古径記念美術館、小林古径邸、画室

開 催 内 容：所蔵品を中心に、日本美術院で活躍した作家の作品を22作家・57点展示。院展作家の多様な作品を通して、日本美術院と古径の関わりを紹介した。

「古径と院展の作家たち」（企画展示室）

「草花で感じる季節の移ろい」（古径記念室）

主な出品作家：【日本画】小林古径・横山大観・下村観山・安田靉彦・前田青邨・片岡球子

【彫 刻】平櫛田中

そ の 他：・観桜会期間中（4月1日～4月15日）は無休、19:00まで延長開館。

・5月18日（火）は「国際博物館の日」を記念して入館無料。

・毎週火曜日の午前中は「よちよちタイム」として、乳幼児を連れて入館の保護者1名を無料とした。

担当学芸員：小川陽子・笹川修一



(2) 入館者の状況

区 分	有 料	無 料	合 計
一 般	2,071 人	798 人	2,869 人
幼・小・中・高	25 人	363 人	388 人
計	2,096 人	1,161 人	3,257 人

1日平均46人、有料入館率 64%

〈展示作品リスト〉

作品名	作家名	分類	制作年	寸法 (cm)	材質・技法	形状	備考
■企画展示室 「古径と院展の作家たち」							
旭光	木村 武山	日本画	—	47.5 × 71.7	絹・着色	額装	寄託作品
江山垂釣	橋本 雅邦	日本画	明治時代	140.0 × 50.2	絹・墨・淡彩	軸装	高橋信雄氏寄贈
芦に白鷺	菱田 三男治(春草)	日本画	1891(明治24)	53.4 × 38.9	紙・着色	軸装	寄託作品
四方竹	横山 大観	日本画	—	128.5 × 50.0	絹・着色	軸装	個人蔵
五柳先生	横山 大観	日本画	—	128.5 × 51.0	紙・着色	軸装	個人蔵
海辺松	下村 観山	日本画	大正時代	146.5 × 50.3	絹・着色	軸装	高橋信雄氏寄贈
筒井筒	今村 紫紅	日本画	大正時代	199.5 × 54.3	絹・着色	軸装	高橋信雄氏寄贈
富士見西行	富田 溪仙	日本画	—	128.5 × 41.8	絹・着色	軸装	渡辺静一氏寄贈
白雲深霞	近藤 浩一路	日本画	1933(昭和8)	117.0 × 58.8	紙・墨	軸装	高橋信雄氏寄贈
牡丹	前田 青邨	日本画	—	145.5 × 53.3	紙・着色	軸装	個人蔵
紫陽花	安田 靉彦	日本画	—	124.0 × 40.8	絹・着色	軸装	個人蔵
芭蕉翁	安田 靉彦	日本画	—	124.0 × 41.0	絹・着色	軸装	個人蔵
秋海棠	郷倉 千靉	日本画	—	40.0 × 50.2	紙・着色	軸装	個人蔵
背負子	酒井 三良	日本画	—	40.0 × 52.0	紙・着色	額装	甲斐國子氏寄贈
石楠花に尾長	堅山 南風	日本画	昭和初期	48.5 × 56.3	絹・着色	額装	寄託作品
寒牡丹咲く富士	片岡 球子	日本画	—	44.5 × 26.5	紙・着色	額装	Jマテ・ホールディングス株式会社寄託

水仙	片岡 球子	日本画	—	47.2 × 56.6	絹・着色	額装	
大和の春	松尾 敏男	日本画	—	64.5 × 52.5	紙・着色	額装	Jマテ・ホールディングス株式会社寄託
なんてん (扇面)	田淵 俊夫	日本画	—	34.5 × 68.5	紙・着色	額装	Jマテ・ホールディングス株式会社寄託
松竹梅 (扇面)	大矢 十四彦	日本画	—	23.0 × 40.0	金地・紙・着色	額装	甲斐國子氏寄贈
椿	齋藤 満栄	日本画	—	30.7 × 39.8	紙・着色	額装	寄託作品
四月の森	白井 進	日本画	—	94.0 × 103.5	絹・着色	額装	寄託作品
六代菊五鏡獅子	平籾 田中	彫刻	1941(昭和16)	30.0 × 45.0 × 50.0	木彫・着色	木彫	寄託作品
蝶	小林 古径	日本画	1938(昭和13)	43.5 × 51.3	絹・着色	軸装	個人蔵
草花図	小林 古径	習作	1947(昭和22)	72.0 × 46.6	紙・着色	額装	山岸邦夫氏遺贈
ちゅうりっぷ	小林 古径	素描	1947(昭和22)頃	34.0 × 50.0	紙・鉛筆・色鉛筆	額装	
子犬	小林 古径	日本画	1935(昭和10)	77.2 × 47.0	紙・着色	額装	山岸邦夫氏遺贈
院葬の辞	前田 青邨	資料	1957(昭和32)	37.0 × 182.0	紙・墨	額装	
金泥	小林古径旧蔵品	資料	—				深見實郎氏寄贈
端溪硯	小林古径旧蔵品	資料	—				
乳鉢	小林古径旧蔵品	資料	—				深見實郎氏寄贈
乳棒	小林古径旧蔵品	資料	—				深見實郎氏寄贈
顔料	小林古径旧蔵品	資料	—				深見實郎氏寄贈
絵皿	小林古径旧蔵品	資料	—				深見實郎氏寄贈
筆・刷毛	小林古径旧蔵品	資料	—				

■ギャラリー特集展示「院展作家による扇面画の世界」

富士	横山 大観	木版画	—	22.0 × 27.7	紙・木版印刷	額装	
海棠	小林 古径	木版画	—	19.5 × 42.0	紙・木版印刷	額装	
小菊	小林 古径	木版画	—	18.9 × 41.5	紙・木版印刷	額装	
パンジー	奥村 土牛	木版画	—	19.5 × 41.6	紙・木版印刷	額装	
薔薇	安田 鞆彦	木版画	—	19.9 × 43.3	紙・木版印刷	額装	
松図	前田 青邨	木版画	—	21.5 × 47.5	紙・木版印刷	額装	
寄せ書き	小林 古径ほか	木版画	—	23.0 × 52.7	紙・木版印刷	額装	
寄せ書き	速水 御舟ほか	木版画	—	23.0 × 52.8	紙・木版印刷	額装	

■古径記念室「草花で感じる季節の移ろい」

牡丹	小林 古径	日本画	1951(昭和26)	59.1 × 76.4	紙・着色	軸装	
朝顔	小林 古径	日本画	1928(昭和3)	119.5 × 36.1	絹・着色	軸装	齋藤弘氏寄贈
八仙花	小林 古径	日本画	1928(昭和3)	128.4 × 41.4	絹・着色	軸装	齋藤弘氏寄贈
おしろい花	小林 古径	日本画	1936(昭和11)	41.6 × 56.2	絹・着色	軸装	個人蔵
瓶花	小林 古径	素描	1949(昭和24)	49.8 × 36.7	紙・鉛筆・淡彩・色鉛筆	額装	
牡丹	小林 古径	素描	1949(昭和24)	36.7 × 49.8	紙・鉛筆・淡彩	額装	
菖蒲	小林 古径	素描	—	50.0 × 34.0	紙・淡彩	額装	
八仙花	小林 古径	素描	—	39.7 × 59.1	紙・墨	額装	
朝顔	小林 古径	素描	—	57.0 × 45.0	紙・鉛筆・淡彩	額装	
菊	小林 古径	素描	—	51.0 × 59.5	紙・着色	額装	
梅花旅硯	小林古径旧蔵品	資料	—	12.5 × 6.8 × 1.5	木・石・金属		
小林古径絵付け湯呑み	小林古径旧蔵品	資料	—	7.5 × 4.0 × 7.0	陶器		深見實郎氏寄贈
小林古径手製料紙文庫	小林古径旧蔵品	資料	—	38.0 × 26.0	紙・竹・彩色		
小林古径妻マス宛はがき	小林古径旧蔵品	資料	—	14.0 × 9.1	紙・墨・淡彩		

(3) 展覧会関連イベント

イベント名	実施日	参加者数	内 容
映像で偲ぶ古径忌	4月3日(土) 【午前】10:00～11:00 【午後】14:00～15:00	【午前】8人 【午後】7人 計15人	古径忌にちなみ、学芸員による解説の後に古径に関する映像(画の求道者)を放映(約30分)した。
学芸員による ギャラリートーク	4月29日(木・祝) 5月16日(日) 5月30日(日) 6月6日(日) 6月13日(日) 13:30～14:00	35人	学芸員が展示作品や作家等について解説を行った。 主な内容 ・展覧会に出品している作家について(古径含む) ・展示概要、日本美術院について、特徴的な作品の解説など
学芸員とめぐる 古径邸・庭園ツアー	5月4日(火・祝) 【午前】10:00～11:00 【午後】14:00～15:00	【午前】20人 【午後】15人 計35人	古径邸・画室の建築の見どころを学芸員が紹介しながら、古径邸庭園で見ごろを迎えた山ツツジ等の植物を鑑賞した。
みんなで 「きっず★アートチャレンジ」	5月5日(水・祝) 【午前】10:00～11:30 【午後】14:00～15:30	【午前】7人 【午後】3人 計10人	学芸員と一緒に美術館内をめぐり、子ども向け鑑賞ガイド「きっず★アートチャレンジ」に挑戦。小林古径や日本画の画材について学んだ。
どようワークショップ 「扇面画をかいてみよう」	5月1日～6月19日 毎週土曜日 10:00～12:00	延べ 39人	来館者が気軽に体験できるミニワークショップを実施した。



みんなで「きっず★アートチャレンジ」



学芸員とめぐる古径邸・庭園ツアー

「古径と院展の作家たち」 展示風景



(1) 企画展の概要

展覧会名：生誕90年 岩野勇三彫刻展 一人間へのまなざし

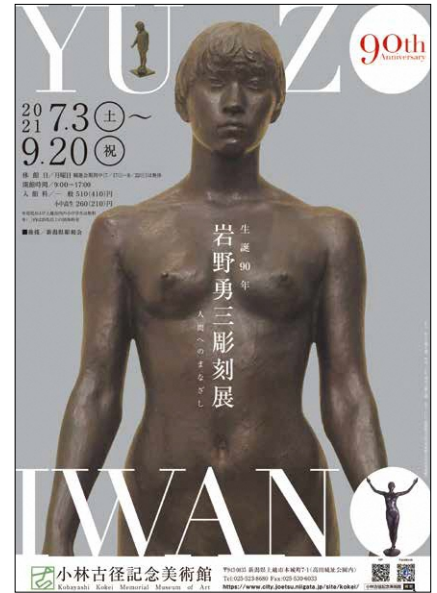
会 期：令和3年7月3日（土）～9月20日（月・祝）62日間

会 場：小林古径記念美術館

開 催 内 容：今年生誕90年を迎える上越市出身の彫刻家・岩野勇三の芸術を回顧する展覧会を開催した。彫刻家を志した若い頃の作品から、新制作協会等で活躍しつつ東京造形大学で教鞭を取り始めた30～40代の作品、そして56歳で早世するまで制作した生命力あふれる裸体像まで、時代を追って紹介した。また、関連イベントとして、岩野の実家があった大島区を会場に「勇三のふるさと 大島区さとがえり展」を開催したほか、上越教育大学彫刻研究室と連携し、ワークショップやシンポジウム、彫刻清掃など多彩なイベントを開催した。

主な展示作品：岩野勇三《母》、《糸魚川》、《ささと少年》（いずれも個人蔵）、《なほ》（新潟市美術館蔵）、《にけ》（新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵）、デッサン、アクセサリ、制作の道具ほか

担当学芸員：市川高子・伊藤舞実



(2) 入館者の状況

区 分	有 料	無 料	合 計
一 般	1,186 人	726 人	1,912 人
幼・小・中・高	179 人	221 人	400 人
計	1,365 人	947 人	2,312 人

1日平均37.3人、有料入館率 59.0%

※9月3日（金）～9月16日（木）は新型コロナウイルス感染症拡大による新潟県特別警報発令のため臨時休館

〈展示作品リスト〉

作品名	制作年 又は出品年	像高寸法(cm)	材質・技法	初出展覧会／受賞	所蔵先
■企画展示室 「生誕90年記念 岩野勇三彫刻展」					
第1章 彫刻家への道 1955年～					
立つ女	1955(昭和30)	78.6	ブロンズ・鑄造	第19回新制作協会展入選	
母	1958(昭和33)	62.6	ポリエステル	新制作協会彫刻展出品	
服を脱ぐ女	1959(昭和34)	101.7	木彫	第8回平和美術展	
あさこ	1964(昭和39)	14.7	ブロンズ・鑄造	岩野勇三彫刻展(ときわ画廊)	
あさこ	1967(昭和42)	27.1	ブロンズ・鑄造	岩野勇三彫刻展(資生堂ギャラリー)	
はだか	1967(昭和42)頃	38.7	ブロンズ・鑄造	岩野勇三彫刻展(資生堂ギャラリー)	
父	1969(昭和44)	27.1	ブロンズ・鑄造	岩野勇三彫刻展(銀座・松屋)	
ふたつ	1969(昭和44)	46.6	ブロンズ・鑄造	岩野勇三彫刻展(資生堂ギャラリー)	
たろうとりょうすけ	1969(昭和44)	63.9	ブロンズ・鑄造	岩野勇三彫刻展(資生堂ギャラリー)	個人蔵
石膏像(デッサン)	1950(昭和25)	20.3×28.9	紙・鉛筆(額装)		
自画像(デッサン)	1950年代	26.8×21.0	紙・鉛筆(額装)		
母(デッサン)	1954(昭和29)頃	21.5×15.1	紙・鉛筆(額装)		
第2章 人間をみつめて 1967年～					
糸魚川	1971(昭和46)	22.2	ブロンズ・鑄造	岩野勇三作品展(銀座松屋)	
ゆきざり	1967(昭和42)	75.2	ブロンズ・鑄造	岩野勇三彫刻展(資生堂ギャラリー)	
吹雪	1968(昭和43)	73.4	ブロンズ・鑄造		
待合室	1968(昭和43)	39.0	ブロンズ・鑄造	第16回平和美術展	
良寛	1969(昭和44)	60.2	ブロンズ・鑄造	岩野勇三彫刻展(資生堂ギャラリー)	個人蔵
鱈市の女	1970(昭和45)	43.2	ブロンズ・鑄造	第18回平和美術展	
ささと少年	1970(昭和45)	139.1	ブロンズ・鑄造	第34回新制作協会展	
さわこ	1971(昭和46)	22.3	ブロンズ・鑄造	岩野勇三作品展(銀座松屋)	個人蔵
Lament	1971(昭和46)	227	ポリエステル	第35回新制作協会展	
おさげ	1976(昭和51)	28.1	ブロンズ・鑄造	第2回七刻展	
さなえ	1979(昭和54)	33.5	ブロンズ・鑄造	岩野勇三顔展(銀座・現代彫刻センター)	個人蔵

あさこ	1980(昭和55)	36.1	ブロンズ・鋳造	第44回新制作協会展	
伊豆の女	1976(昭和51)	32.1	ブロンズ・鋳造	第40回新制作協会展	
第3章 裸像の美 1980年～					
くみ	1975(昭和50)	115.5	ブロンズ・鋳造	第39回新制作協会展	
なかま	1986(昭和61)	46.6	ブロンズ・鋳造	第9回世田谷美術展	
りか	1982(昭和57)	130.5	ブロンズ・鋳造	第46回新制作協会展	
なほ	1983(昭和58)	129.5	ブロンズ・鋳造	第10回七刻展 第17回中原梯二郎賞	新潟市美術館蔵
にけ	1985(昭和60)	174.0	ブロンズ・鋳造	岩野勇三展(銀座・現代彫刻センター)	新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
牧歌(エスキース)	1987(昭和62)	53.2	ブロンズ・鋳造		個人蔵
人物(デッサン)	1971(昭和46)頃	23.7×34.7	紙・ペン		
裸婦(デッサン)	—	36.5×21.0	紙・コンテ		
裸婦(デッサン)	—	34.5×23.0	紙・鉛筆		
えつこ(デッサン)	—	53.8×42.1	紙・鉛筆		
裸婦(デッサン)	—	38.2×27.0	紙・コンテ		
にしん	1953(昭和28)	23.2×32.2	カンヴァス・油彩		
高田の風景	1950(昭和25)	37.2×44.5	カンヴァス・油彩		
レリーフ	1955(昭和30)頃	9.0×11.6	ブロンズ・鋳造		
牧童	1957(昭和32)頃	9.4×10.5	ブロンズ・鋳造	岩野勇三彫刻展(とき画廊)	
レリーフ	—	8.0×8.5	ブロンズ・鋳造		
とりばい	1966(昭和41)頃	36.0×40.7	ブロンズ・鋳造		個人蔵
雪女I	1973(昭和48)	67.0×50.0	ブロンズ・鋳造	岩野勇三作品展(ギャラリー2・4・1)	
ブローチ・ネックレス					個人蔵

■岩野勇三 屋外展示作品

吹雪	1968(昭和43)	73.4	ブロンズ・鋳造		
けしとあさこ	1969(昭和44)	122.6	ブロンズ・鋳造	第4回昭和会展/林武賞	
おまんた	1976(昭和51)	320.0	ブロンズ・鋳造		
ゆき	1977(昭和52)	52.9	ブロンズ・鋳造	第9回七刻展	
まつり	1980(昭和55)	128.1	ブロンズ・鋳造		
はぐれっこ	1983(昭和58)	65.3	ブロンズ・鋳造		
那有	1983(昭和58)	196.0	ブロンズ・鋳造	第47回新制作協会展	
わかば	1983(昭和58)	176.2	ブロンズ・鋳造	第1回東京野外彫刻展	
りか	1984(昭和59)	175.8	ブロンズ・鋳造		
みどり	1985(昭和60)	87.1	ブロンズ・鋳造	岩野勇三展(銀座・現代彫刻センター)	
BALANCE	1970(昭和45)	160.0	ブロンズ・鋳造		

作家名 作品名 制作年 材質・技法 像高寸法 (cm)

■その他作家 屋外展示作品

峯孝 出	1969(昭和44)		ブロンズ・鋳造	100.0	
戸張 幸男 明	1963(昭和38)		ブロンズ・鋳造	180.0	
滝川 毘堂 旭光	1975(昭和50)		ブロンズ・鋳造	195.0	
小池 藤雄 蒼い空	1977(昭和52)		ブロンズ・鋳造	190.0	
千野 茂 フォーム	1976(昭和51)		ブロンズ・鋳造	160.0	
堀内 正和 はてなの夢	1973(昭和48)		ブロンズ・鋳造	60.0	
柳原 義達 道標 鴉	1978(昭和53)		ブロンズ・鋳造	56.0	
岡本 鍊二 なぎさ	1986(昭和61)		ブロンズ・鋳造	170.0	
舟越 保武 LORA	1980(昭和55)		ブロンズ・鋳造	43.0	
佐藤 忠良 演技生	1963(昭和38)		ブロンズ・鋳造	50.0	
建島 寛造 DISK	1983(昭和58)		金属	58.0	
向井 良吉 流木の渚のジャコモッティ	1982(昭和57)		アルミ	190.0	
峯田 敏郎 西風の防波堤	1988(昭和63)		ブロンズ・鋳造	190.0	
土谷 武 蟬	1984(昭和59)		鋼鉄	28.0	
澄川 喜一 そりのあるかたち 84	1984(昭和59)		石・金属	365.0	

作家名 作品名 制作年 材質・技法 寸法 (cm) 形状 備考

■古径記念室

小林 古径 鶴鶴	1943(昭和18)		紙・着色	27.6×23.6	軸装	
小林 古径 果実	1951(昭和26)		紙・墨	26.2×24.2	軸装	株式会社井上商会寄贈
小林 古径 めうか	1943(昭和18)		紙・着色	28.0×34.0	軸装	
小林 古径 翠色	1917(大正6)		紙・着色	148.4×48.1	軸装	齋藤弘氏寄贈
小林 古径 すすき	大正期		絹・着色	141.0×50.3	軸装	高橋信雄氏寄贈
小林 古径 平治物語絵詞 六波羅合戦巻(模写)	—		紙・墨	54.5×78.8	額装	
小林 古径 平治物語絵詞 六波羅合戦巻(模写)	—		紙・墨	37.0×56.0	額装	
小林 古径 桃太郎(習作)	—		紙・墨・淡彩	99.5×57.0	額装	
小林 古径 大野寺(写生)	1932(昭和7)		紙・鉛筆・淡彩	28.0×42.0	額装	
小林 古径 大野寺(写生)	1932(昭和7)		紙・鉛筆・淡彩	42.0×28.0	額装	
小林 古径 大野寺(写生)	1932(昭和7)		紙・鉛筆・淡彩	42.0×28.0	額装	
小林 古径 写生帖	明治～昭和期		紙		冊子(5冊)	

(3) 展覧会関連イベント

イベント名	実施日	参加者数	内 容
勇三のふるさと 大島区さとがえり展	7月10日(土)～ 7月18日(日)	227人	「岩野勇三彫刻展」開催に合わせ、勇三の故郷大島区大平にて小品、デッサン、レリーフ17点を展示。17日(土)に作品鑑賞会と岩野勇三に関する映像の放映会を行った。
学芸員による作品鑑賞会	7月3日(土) 8月14日(土) 13:30～14:30	29人	学芸員による作品解説を行った。 展示作品に実際に触れる時間を設けた。
岩野勇三映像放映会	7月3日(土) 7月17日(土) 8月14日(土) 8月28日(日)	46人	岩野勇三のインタビュー番組「この道ひとすじ」(JCV・昭和62年)を放映し、岩野の人となりや制作に対する姿勢等の理解を深めた。
座談会「彫刻の魅力を語ろう」	7月10日(土) 14:00～15:00	20人	上越市ゆかりの彫刻家から制作技法や魅力を紹介してもらった。 講師：濱口剛氏(上越美術協会会長)、横尾元則氏(県展参与)、本間公司氏(県彫刻会会長)
ブロンズコーナー 彫刻清掃&鑑賞会	7月17日(土) 8月28日(土) 9:00～10:30	14人	公園内の岩野作品を清掃し磨いた後、作品を鑑賞した。清掃しながら彫刻に触れてもらうことで、造形美を体感してもらった。 協力：上越教育大学彫刻研究室
子ども講座 「彫刻ってなんだ？ 作品作りにちょうせん！」	8月22日(日) 9:30～12:00	9人	展示室内や公園内の作品を鑑賞した後、自由に想像をふくらませて、粘土で作品作りをした。 講師：大塚啓氏・大竹裕範氏(上越美術教育連盟会員)



大学ワークショップ



作品鑑賞会

「岩野勇三彫刻展」
展示風景



古径記念室 展示風景



(1) 企画展の概要

展覧会名：市制施行50周年・小林古径記念美術館開館1周年記念
「永青文庫所蔵近代日本画名品展」

会期：令和3年10月2日（土）～11月23日（火・祝） 45日間
前期…10月2日～10月24日
後期…10月26日～11月23日（※前期・後期で作品入替え）

会場：小林古径記念美術館

開催内容：東京・永青文庫が所蔵する小林古径《髪》（重要文化財）や《孔雀》のほか、横山大観や下村観山などの近代日本画壇を代表する作家の作品に加えて細川家赤倉別荘の資料など、前期・後期あわせて31点を展示した。作品展示とともに記念講演会やコンサート、体験講座などの各種イベントを実施した。

主な出品作家：小林古径《髪》（重要文化財）、《孔雀》《鶴と七面鳥》
横山大観《柿紅葉》《野の花》
下村観山《女》《一休禅師》
松岡映丘《室君》（重要文化財）
鍋木清方《抱一上人》《花吹雪・落葉時雨》
細川家赤倉別荘杉戸絵《鳥尽》、《手拭下図》

その他：毎週火曜日の午前中は「よちよちタイム」として、乳幼児連れの保護者1名は無料とした。また、前期展入館者は半券と引き換えに後期展入館料を団体割引料金とした。

担当学芸員：笹川修一・小川陽子



(2) 入館者の状況

区分	有料	無料	合計
一般	6,383人	1,395人	7,778人
幼・小・中・高	102人	315人	417人
計	6,485人	1,710人	8,195人

1日平均182.1人、有料入館率79.1%

〈展示作品リスト〉

作品名	作家名	制作年	寸法 (cm)	材質・技法・個数	備考
■細川護立と小林古径					
鶴と七面鳥	小林 古径	1928(昭和3)	各 169.4 × 191.6	紙本・着色 二曲一双	再興第15回日本美術院展 熊本県立美術館寄託
髪	小林 古径	1931(昭和6)	170.0 × 108.2	絹本・着色 1面	再興第18回日本美術院展 重要文化財 熊本県立美術館寄託
孔雀	小林 古径	1934(昭和9)	166.8 × 243.0	紙本・着色 二曲一隻	再興第21回日本美術院展
画稿	小林 古径	—	41.6 × 39.8	紙本・鉛筆 1帖	
鶉	小林 古径	1934(昭和9)	94.5 × 24.6	絹本・着色 1幅	第18回日本美術院試作展
鳥図(小襖)	小林 古径	—	各 20.5 × 40.7	紙本・着色 2面	
北京写生	小林 古径	1941(昭和16)	各 35.3 × 56.0	紙本・鉛筆淡彩 19枚	
大観先生デッサン	小林 古径	1942(昭和17)	34.0 × 53.5	紙本・鉛筆 1面	近代日本画の名品
■近代日本画の名品					
月夜山水	寺崎 廣業	1902(明治35)頃	141.0 × 68.0	絹本・墨画 1幅	
祇王祇女	木村 武山	1908(明治41)	179.0 × 97.0	絹本・着色 1幅	国画玉成会主催日本絵画展覧会
吹雪・落葉時雨	鏑木 清方	1908(明治41)	各 156.0 × 71.0	絹本・着色 双幅	国画玉成会主催日本絵画展覧会(三等賞)
抱一上人	鏑木 清方	1909(明治42)	左右: 114.0 × 23.5 中央: 127.0 × 36.2	紙本・着色 3面	烏合会第19回展
林泉群鶴図	西村 五雲	1911(明治44)頃	各 153.3 × 363.0	紙本・着色 六曲一双	
寒山拾得図	横山 大観・下村 観山	1911(明治44)頃	170.5 × 82.0	紙本・墨画淡彩 1幅	
三蔵・悟空・八戒	今村 紫紅	1913(大正2)	各 127.0 × 41.5	絹本・着色 3幅	
女	下村 観山	1915(大正4)	134.0 × 50.5	絹本・着色 1幅	第1回日本美術院習作展覧会
室君	松岡 映丘	1916(大正5)	各 173.6 × 383.6	絹本・着色 六曲一双	第10回文部省美術展覧会(特選) 重要文化財 熊本県立美術館寄託
松竹梅	竹内 栖鳳	1916(大正5)	各 129.2 × 41.5	絹本・着色 3幅	
霊泉由来	川端 龍子	1916(大正5)	左右: 180.0 × 68.0 中央: 211.5 × 68.0	麻布・金地着色 3面	再興第3回日本美術院展(樗牛賞)
一休禪師	下村 観山	1918(大正7)	150.0 × 68.5	絹本・着色 1幅	
山窓無月	横山 大観	1919(大正8)	169.5 × 78.2	絹本・墨画着色 1幅	再興第6回日本美術院展 熊本県立美術館寄託
柿紅葉	横山 大観	1920(大正9)	各 168.2 × 373.0	絹本・着色 六曲一双	再興第6回日本美術院展 熊本県立美術館寄託
調鞠図	堂本 印象	1921(大正10)	各 205.5 × 90.5	絹本・着色 双幅	第3回帝国美術展覧会(特選)
野の花	横山 大観	1936(昭和11)	各 159.0 × 173.0	紙本・着色 2曲1双	再興第23回日本美術院展 熊本県立美術館寄託
初転法輪之世尊	中村 岳陵	1960(昭和35)	45.0 × 36.0	紙本・着色 1面	
摩耶夫人	中村 岳陵	1960(昭和35)	32.0 × 42.0	紙本・着色 1面	
魔女	中村 岳陵	1960(昭和35)	36.5 × 44.5	紙本・着色 1面	
■細川家と赤倉					
鳥尽	赤倉細川家別荘杉戸	昭和初期	各 174.5 × 88.0 各 176.8 × 87.7	杉板・着色 4面	
手拭下図	横山 大観・平福 百穂	昭和初期	大観 33.0 × 93.0 百穂 36.0 × 136.0	絹本・着色 2枚	
赤倉温泉来訪者芳名帳	—	大正～昭和	24.0 × 18.1 33.2 × 24.2 33.2 × 24.1	9冊のうち6冊	
■参考出品					
「亜細亜ハーナリ」	細川 護立	—	34.5 × 91.2	紙本・墨書 1面	個人蔵

(3) 展覧会関連イベント

イベント名	実施日	参加者数	内 容
記念講演会	11月13日(土) 14:00～15:00	41人	細川護立及び永青文庫のコレクション、今回の展示作品の紹介を行った。 講師：舟申彩氏（永青文庫学芸員） 演題：永青文庫の近代日本画コレクション～細川護立と画家たちの交流
学芸員による ギャラリートーク	10月3日(日) 10月24日(日) 11月7日(日) 11月21日(日) 13:30～14:30	75人	学芸員が展示作品や作家等について解説を行った。 〈主な内容〉 ・古径と細川護立について ・今回の展示概要、特徴的な作品の解説など
秋の美術館コンサート	10月17日(日) 14:00～15:00	78人	Harp Jazz（ハーブ、アコーディオン、ボーカルの3名）により、映画音楽やスタンダードジャズなどを二ノ丸ホールにて演奏した。 (協賛：Jマテ. ホールディングス株式会社)
親子講座 作品をみて和菓子をつくろう	10月30日(土) 【午前の部】 10:00～12:00 【午後の部】 14:00～16:00	32人	小学生の親子を対象として、永青文庫展の展示作品を鑑賞した後、作品にちなんだオリジナル和菓子をつくった。 講師：宮越雅士氏（大杉屋惣兵衛仲町工場長）
日本画鑑賞と魯山人の器で 楽しむ特別懐石料理	11月4日(木) 11月8日(月) 11月15日(月) 【午前の部】 11:00～13:30 【午後の部】 17:00～20:00	54人	美術館休館日を活用して、各回10人限定で学芸員による作品鑑賞会と魯山人の器を使った特別懐石料理をセットにして参加者から楽しんでいただいた。 【昼の部】 9,000円（長養館） 【夜の部】 17,000円（エリス・晴山荘） (共催及び協力：Jマテ. ホールディングス株式会社)
庭園紅葉ライトアップ	11月9日(火)～ 23日(祝) 点灯時間 16:30～19:00	252人	・モミジの紅葉が美しい秋の庭園内をライトアップし、美術館の持つ魅力をアピールした ・庭園ライトアップにあわせて美術館を延長開館した

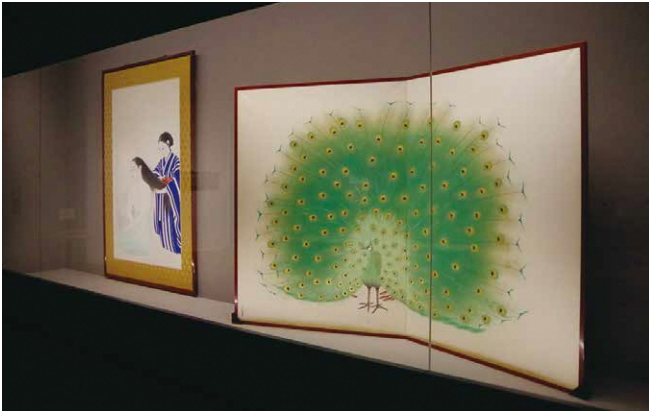


記念講演会



作品をみて秋の和菓子をつくろう

「永青文庫所蔵近代日本画名品展」展示風景
前期



後期



(1) 企画展の概要

展覧会名：コレクション展「白の世界」

会 期：令和4年1月4日（火）～3月13日（日） 59日間

会 場：小林古径記念美術館

開 催 内 容：「白」をテーマに、作品それぞれが持つ「白」の色彩や表現方法を感じることができる展覧会を開催した。「色彩の白」「雪の白」「余白・空白の白」の3つの視点から作品を紹介し、当館の所蔵品を中心に絵画・彫刻・工芸・写真の多彩なジャンルの作品30点を展示した。

主な展示作品：倉石隆《さとうひさこの像》、峯田敏郎《おんな一信州》、柴田長俊《寒月「久比岐野十二景」》、斎藤真一《三人の瞽女 冬の旅支度》、富岡惣一郎《木》、川合清《壁》（いずれも当館蔵）、堀川紀夫《Snow Performance '85-5J》、笹川春艸《松寿千年（習作）》（いずれも個人蔵）ほか

そ の 他：・新型コロナウイルスまん延防止等重点措置適用により、親子鑑賞会（1月22日）、キャンドルナイト（2月11日）、よちよちあーと（2月22日）、どうようワークショップ（1月21日～3月6日の土曜日）を中止した。

・ホールに設置している幼児向けのおもちゃを撤去した。

担当学芸員：伊藤舞実・市川高子



(2) 入館者の状況

区 分	有 料	無 料	合 計
一 般	664 人	263 人	927 人
幼・小・中・高	11 人	353 人	364 人
計	675 人	616 人	1,291 人

1日平均21.9人、有料入館率52.3%

(3) 展覧会関連イベント

新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の適用により中止。

〈展示作品リスト〉

分類	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)	形状	備考
■企画展示室 「白の世界」							
I 色彩としての「白」							
日本画	加倉井 和夫	好日	—	紙・彩色	32.5 × 52.5	額装	Jマテ・ホールディングス株式会社寄託
日本画	松尾 敏男	大和の春	—	紙・彩色	64.5 × 52.5	額装	Jマテ・ホールディングス株式会社寄託
洋画	宮崎 喜三	幻想	1967(昭和42)	麻紙・グワッシュ	84.7 × 114.8	額装	宮崎恭透氏寄贈
洋画	倉石 隆	さとうひさこの像	1965(昭和40)	カンヴァス・油彩	195.5 × 136.2	額装	倉石翠氏寄贈
彫刻	峯田 敏郎	おんな一信州一	1991(平成3)	テラコッタ・着色	高さ 60.5		峯田敏郎氏寄贈
工芸	齋藤 三郎	白磁壺	1970(昭和45)	磁器	高さ 19.5		齋藤弘氏寄贈
工芸	内田 邦夫	白釉水注	—	陶器	高さ 20.4		
工芸	志賀 重雄	粉吹茶碗	—	陶器	高さ 9.3		
工芸	北大路 魯山人	志埜鉢	—	陶器	高さ 8.7		Jマテ・ホールディングス株式会社寄託
II 雪の「白」							
写真	堀川 紀夫	Snow Performance'85-5]	1985(昭和60)	紙・プリント	98.0 × 98.0	パネル	個人蔵
写真	濱谷 浩	村の全景「雪国」	1940(昭和15)	ゼラチンシルバープリント	20.0 × 30.0	額装	
写真	濱谷 浩	サイの木の家と サイの木の田圃「雪国」	1940(昭和15)頃	ゼラチンシルバープリント	30.0 × 20	額装	
写真	濱谷 浩	歌って行く鳥追い「雪国」	1940(昭和15)頃	ゼラチンシルバープリント	20.0 × 30.0	額装	
写真	濱谷 浩	川下で顔を洗う人たち「雪国」	1940(昭和15)頃	ゼラチンシルバープリント	30.0 × 20.0	額装	
洋画	村山 陽	なんにもだいらの樹たち	1976(昭和51)	カンヴァス・油彩	90.0 × 115.8	額装	村山陽氏寄贈
洋画	齋藤 真一	明星 二本木の雪	1992(平成4)	板・油彩	41.6 × 51.0	額装	齋藤裕重氏寄贈
洋画	齋藤 真一	三人の替女 冬の旅支度	1980(昭和55)	カンヴァス・油彩	59.0 × 51.0	額装	池田敏章氏寄贈
日本画	川合 清	晴れ行く	1995(平成7)	紙・彩色	99.5 × 131.0	額装	川合喜美子氏寄贈
日本画	柴田 長俊	寒月「久比岐野十二景」	2001(平成13)	桐板・グラバス・着色	117.0 × 166.0	額装	
洋画	鳥越 憂	冬日	1982(昭和57)	カンヴァス・油彩	133.9 × 110.6	額装	鳥越憂氏寄贈
洋画	筑波 進	冬の日本海	2002(平成14)	紙・ペン・水彩	29.2 × 38.6	額装	個人蔵
墨画	早津 剛	高田城三重櫓	—	紙・墨	56.5 × 83.5	額装	早津剛氏寄贈
日本画	梶田 半古	清少納言	—	絹・彩色	125.0 × 50.0	軸装	諸隈裕一氏寄贈
資料	齋藤 三郎	志賀重雄宛書簡	1979(昭和54)	紙・墨・彩色	23.0 × 68.5	マクリ	志賀重雄氏寄贈
III 余白・空白の「白」							
水墨画	笹川 春艸	松寿千年(習作)	2009(平成21)	紙・墨	各 175 × 155	六曲一雙屏風	個人蔵
洋画	富岡 惣一郎	北海道 空 大地	1979(昭和54)	紙・墨	84.5 × 58.3	額装	
洋画	富岡 惣一郎	木	1971(昭和46)	カンヴァス・油彩	72.7 × 60.6	額装	
日本画	川合 清	壁	1983(昭和58)	紙・彩色	72.5 × 52.5	額装	川合喜美子氏寄贈
洋画	倉石 隆	Kの肖像	1973(昭和48)	カンヴァス・油彩	147.3 × 114.3	額装	倉石翠氏寄贈
洋画	倉石 隆	粉雪が舞う	1985(昭和60)	カンヴァス・油彩	147 × 98.9	額装	倉石翠氏寄贈
■古径記念室 「小林古径 人と作品」							
日本画	小林 古径	少女	1898(明治31)頃	絹・彩色	67.8 × 54.8	軸装	田中産業株式会社寄贈
日本画	小林 古径	少女	1907(明治40)	絹・彩色	29.3 × 23.0	軸装	個人蔵
日本画	小林 古径	鳩	1927(昭和2)	絹・彩色	116.0 × 41.7	軸装	久保田洋子氏寄贈
日本画	小林 古径	寿老	1947(昭和17)	紙・墨画彩色	42.6 × 59.6	軸装	山岸邦夫氏遺贈
習作	小林 古径	紅梅(習作)	1951(昭和26)	紙・墨画彩色	91.0 × 86.5	軸装	田中産業株式会社寄贈
日本画	小林 古径	秋草	明治末~大正初頭	絹・彩色	33.5 × 12.0	軸装	個人蔵
日本画	小林 古径	桔梗	1931(昭和6)頃	紙・彩色	31.0 × 12.0	軸装	個人蔵
写生	小林 古径	かぶら(写生)	—	紙・淡彩	46.7 × 60.6	額装	
日本画	小林 古径	菊	大正時代	絹・彩色	34.5 × 43.0	額装	山岸邦夫氏遺贈
習作	小林 古径	りんごと鉢(習作)	—	紙・鉛筆淡彩	59.1 × 59.5	額装	

「白の世界」展示風景



古径記念室 展示風景



上越市美術展覧会 第50回記念企画特別展

上越市美術展覧会が今年で第50回目を迎えたことを記念し、10月に開催した「市制施行50周年 第50回記念上越市美術展覧会」の優秀作品12点及び市展の歴史を振り返る写真パネルや資料を展示した。

- ・会 期 令和3年12月4日（土）～26日（日）20日間
- ・会 場 小林古径記念美術館
- ・入 館 料 無料
- ・入 館 者 数 1,207人（うち、高校生以下230人）
- ・展 示 作 品 優秀作品12点（下記リストのとおり）
- ・担当学芸員 市川高子・伊藤舞実

令和3年12月4日（土）～12月26日（日）月曜休館
午前10時～午後4時

市制施行50周年 第50回記念上越市美術展覧会（中展）での優秀作品12点と、市展の歴史を振り返る写真パネルや資料などを展示しています。小林古径記念美術館の古美術品や小林古径邸もあわせてご覧いただけます。

（出品者名）

- 日本画 池田幸一（甲斐姫蓮図）
- 洋画・版画 内山富佐子（海の記憶）
- 版画・立体造形 渡部咲季（とどのつまり）
- 彫刻・立体造形 川合由美子（裂）
- 工芸・グラフィックデザイン 狩野浩和（上越の野鳥ヘルメット）
- 粘土 茂木健太郎（蟬生る）
- 書道 日浅仁子（為）
- 書道 北川大河（雲從龍）
- 写真 浅間宏志（飛瀑幻影）
- 写真 橋本八典（名立の夕日）

小林古径記念美術館
Niigata City Art Exhibition, Museum of Art
1-1-1, Niigata City, Niigata Prefecture, Japan
TEL: 025-342-8000
E-Mail: info@city-niigata.jp

〈展示作品リスト〉

作家名	作品名	部門	材質・技法	賞名
池田 幸一	甲斐姫蓮図	日本画	紙・彩色	市展50回記念賞
内山 富佐子	海の記憶	洋画・版画	カンヴァス・油彩	市展50回記念賞
篠原 真知子	願	洋画・版画	カンヴァス・油彩	優秀賞
桐山 弘	水揚げの止まった漁村	洋画・版画	カンヴァス・油彩	優秀賞
渡部 咲季	とどのつまり	彫刻・立体造形	松	市展50回記念賞
川合 由美子	裂	彫刻・立体造形	千草石	奨励賞
狩野 浩和	上越の野鳥ヘルメット	工芸・グラフィックデザイン	紙・ペン	市展50回記念賞
茂木 健太郎	蟬生る	工芸・グラフィックデザイン	粘土	奨励賞
日浅 仁子	為	書道	紙・墨	市展50回記念賞
北川 大河	雲從龍	書道	紙・墨	優秀賞
浅間 宏志	飛瀑幻影	写真		市展50回記念賞
橋本 八典	名立の夕日	写真		優秀賞

「上越市美術展覧会」展示風景



(1) 美術館主催・共催イベント・サービス

イベント名	開催日	会場	参加者数	内容
どようワークショップ	会期中の土曜日 10:00～12:00 (全38回開催計画のうち、新型コロナの影響により9回中止)	二ノ丸ホール	175人 (28回/29回) ※3/9現在	子どもから大人まで気軽に楽しめるワークショップを土曜日午前に開催。展示作品や季節に合わせ内容を変え、美術館に親しみを感じてもらおう契機とした。
よちよちタイム	開館中の火曜日 9:00～12:00 (12月～3月は10時～12:00) (全42回開催計画のうち、新型コロナの影響により2回中止)	美術館内	88人 (40回)	未就学児の保護が気兼ねなく美術館で作品鑑賞をしてもらうことを目的に実施。火曜日の午前中を「よちよちタイム」とし、保護者1名無料とした。ホール内に自由に遊べるおもちゃや絵本を用意した。
こどものための美術館ガイド「きつず★アートチャレンジ」	来館した小学生に配布	美術館内	356人	小林古径のこと、美術館に展示している作品のこと、日本画の絵の具に関する問題を解き、美術館に親しみを持ってもらうための子ども向けの取り組み。
スマートフォン向けアプリ「ポケット学芸員」	—	—	—	展示作品画像や解説を、どこでも自分のスマホから楽しむことができるアプリ。展示室にある解説文や作品画像を拡大して表示することができ、展覧会によっては翻訳した作品解説を英文で楽しむことができる。

○上越教育大学との連携事業

「ヨリ・ミチ図工室」

平日の放課後に子どもが主体的に造形活動をする場所、材料、道具、きっかけを提供することを目的として、平成29年に始動。今年で5年目の実施となった。

人数：A組：20名、B組：20名（附属小学校・大町小学校・大手町小学校・稲田小学校・春日新田小学校・国府小学校）

場所：二ノ丸ホール

時間：16:00～18:00

主催：上越教育大学大学院（芸術・体育教育学系（美術）五十嵐史帆研究室）

小林古径記念美術館

テーマ	日時	参加人数	活動内容
美術館探検と名札づくり	6月2日(水) 6月16日(水)	A組：18人 B組：20人	・「古径と院展の作家たち」鑑賞 ・ろうそくやクレヨンで好きな形や線を自由に描き、色水を塗り、すてきな紙をつくる（はじき絵） ・丸切り抜き、自分の名前をスタンプして、缶バッジにする
うみかぜモビール	7月7日(水) 7月21日(水)	A組：20人 B組：20人	・海の生き物たちをモチーフに、キラキラしたスパンコールなどで飾ってモビールを作る
フキダシ美術館	9月1日(水) 9月15日(水)	県特別警報発令に伴う臨時休館のため中止	・「岩野勇三彫刻展」を鑑賞 ・展示作品画像を用いた物語づくり
がんぎをかざろう！	10月6日(水) 10月20日(水)	A組：19人 B組：16人	・「永青文庫展」（前期展）鑑賞 ・カラービニールひもで美術館長廊を飾り付ける
遊んで★日本画	11月10日(水) 11月17日(水)	A組：18人 B組：20人	・「永青文庫展」（後期展）鑑賞 ・日本画キットを紹介し、日本画の画材について学んだあとに、はがきサイズのぬり絵に挑戦する
トラのカレンダーづくり	12月8日(水) 12月15日(水)	A組：20人 B組：19人	・ステンシルの技法を用い、トラの絵のあるカレンダーを作成する

(2)出張講座

団体・学校名	期日	参加者数	内容
新道地区公民館「新道キッズ体験教室」	7月29日(木)	10人	・日本画キットを紹介しながら、日本画の歴史や材料、道具について学んだ ・色紙に「夏」をテーマに絵を描き、日本画の絵の具で彩色した
北諏訪地区公民館	11月15日(金)	9人	・展覧会で作品鑑賞をした後に、和紙はがきに日本画絵具で小林古径作品の塗り絵をした
宝田小学校3年生	11月9日(火)	26人 児童13人 保護者13人	・日本画キットを紹介しながら、日本画の歴史や材料、道具について学んだ ・和紙はがきに日本画絵具で小林古径作品の塗り絵をした
柿崎中学校2年生	11月10日(水)	57人	・日本画キットを紹介しながら、日本画の歴史や材料、道具について学んだ ・和紙はがきに日本画絵具で小林古径作品の塗り絵をした
高田特別支援学校高等部	1月11日(火)	17人	・日本画キットを紹介しながら、日本画の歴史や材料、道具について学んだ ・和紙はがきに日本画絵具で小林古径作品の塗り絵をした
稲田小学校4年生	1月21日(金)	57人	・古径作品鑑賞し、古径について学んだ ・和紙はがきに日本画絵具で小林古径作品の塗り絵をした
高田特別支援学校高等部	2月1日(火)	17人	・小林古径について学んだ ・原寸大複製画《今昔物語》を鑑賞した
合計		193人	

(3) 画材貸出

◆教材キット内容

小林古径が使用したものに近い筆、絵具を揃えた。使用キットは人数に応じて用意する。

キット種類	内 容
見本キット（木箱入り）	岩絵具原石7種、筆原材料5種、紙原材料4種、岩絵具6種、墨、硯、金泥、金箔、銀箔、膠、筆、和紙、絹、ルーペ
使用キット	岩絵具セット2箱、水干絵具セット2箱、胡粉、顔彩セット2箱、墨、硯、筆、金箔、銀箔、箔切、箔はさみ、箔切台、砂子筒4本、砂子巻棒、絵皿、乳鉢・棒、筆洗い、膠鍋、匙、電熱器、膠、新鳥の子紙
日本画制作過程見本	写生から小下図、下図写しを経て骨描き、彩色、仕上げに至るまでの過程（8工程）を見本（F6サイズボード）で示す。
原寸大デジタル複製画	小林古径の複製画を貸与する。貸与点数は一度に約5点までとする。

貸し出し状況

団体・学校名	期 日	内 容
洞谷亜里佐氏（上越教育大学教授）	4月20日（火）～4月22日（木）	大学の講義で使用するため、日本画キット貸出
洞谷亜里佐氏（上越教育大学教授）	5月28日（金）～5月29日（土）	大学で行う公開講座に使用するため、日本画キット貸出

(4) 団体見学

期 日	人数	団体・学校名
4月2日（金）	18人	日本旅行
4月8日（木）	12人	神姫バス
4月9日（金）	11人	神姫バス
4月11日（日）	15人	日本旅行
4月12日（月）	7人	フリーウェイツアー
5月6日（木）	96人	富岡小学校
5月13日（木）	34人	大潟町中学校1年生
5月14日（金）	34人	大潟町中学校1年生
5月18日（火）	16人	官公庁連絡協議会
6月10日（木）	12人	八千浦地区公民館
7月15日（木）	51人	上越高校3年生
7月16日（金）	28人	上越高校3年生
8月5日（木）	18人	柿崎地区公民館
8月19日（木）	11人	新道地区公民館
8月31日（火）	51人	上越総合技術高校
9月1日（水）	30人	上越総合技術高校
9月9日（木）	18人	上越高校3年生
10月5日（火）	28人	高田法人会
10月10日（日）	24人	直江津金葉会
10月13日（水）	92人	長岡市立旭丘中学校
10月6日（水）	43人	新潟江南高校2年生
10月20日（水）	19人	トラマスはるかぜツアー
10月21日（木）	26人	シルバー人材センター女性部
10月22日（金）	20人	柏崎 美楽会
10月26日（火）	6人	直江津ロータリークラブ
10月29日（金）	12人	三条市建設設計協同組合
11月5日（金）	9人	北諏訪地区公民館
11月5日（金）	20人	能生地区老人会
11月6日（土）	19人	大島地区公民館
11月7日（日）	2人	観光コンベンション「小さな旅」
11月11日（木）	13人	潮陵中学校
11月11日（木）	18人	ギャラリー祥ツアー
11月12日（金）	20人	春日地区公民館
11月17日（水）	29人	大潟地区公民館
11月17日（水）	29人	くびきグリーンツアー
11月17日（水）	35人	新潟交通くれよん
11月18日（木）	15人	能生地区公民館
11月18日（木）	29人	くびきグリーンツアー
11月19日（金）	18人	新潟県博物館協議会
11月22日（月）	35人	新潟交通くれよん
12月17日（金）	76人	妙高市立新井小学校6年生
12月21日（火）	19人	関根学園高等学校3年
1月19日（水）	26人	八千浦小学校
1月21日（金）	61人	稲田小学校
2月3日（木）	117人	有田小学校
3月4日（金）	120人	春日小学校4年生

(5) 博物館実習（上越市立歴史博物館との共同事業）

実習日：8月3日（火）～8月7日（土）5日間

実習者：1人（京都女子大学文学部史学科4年）

(1) 作品・資料の収集

①購入作品：該当なし

②寄贈作品

No.	分類	作家名	作品名	制作年	材質・技法	員数
1	日本画	梶田 半古	観音	明治末～大正初	絹・彩色	1幅
2	日本画	梶田 半古	春江	明治末～大正初	絹・彩色	1幅
3	日本画	梶田 半古	采菊図	明治30年代	絹・彩色	1幅
4	日本画	梶田 半古	和気清麻呂	明治末～大正初	絹・彩色	1幅
5	日本画	梶田 半古	勿来関	明治末～大正初	絹・彩色	1幅
6	日本画	梶田 半古	官女と猫	明治末～大正初	絹・彩色	1幅
7	日本画	梶田 半古	六歌仙	1908	絹・彩色	1幅
8	日本画	梶田 半古	蹴鞠	明治末～大正初	絹・彩色	1幅
9	日本画	梶田 半古	音呼	明治末～大正初	絹・彩色	1幅
10	日本画	梶田 半古	勿来之関	明治末～大正初	絹・彩色	1幅
11	日本画	石塚 仙堂	春暁蓬萊山之図	1933年	紙・彩色	1幅
12	油彩画	村山 陽	名立・荒海・二月	2001年	紙・パステル	1面
13	素描	牧野 虎雄	画帖	—	紙・墨	5冊
14	彫刻	岩野 勇三	服を脱ぐ女	1959年	木彫	1点
15	彫刻	岩野 勇三	父	1969年	ブロンズ	1点
16	彫刻	岩野 勇三	Lament	1971年	ポリエステル	1点
17	彫刻	岩野 勇三	くみ	1975年	ブロンズ	1点
18	彫刻	岩野 勇三	りか	1982年	ブロンズ	1点
19	彫刻	岩野 勇三	さなえ	1979年	ブロンズ	1点
20	彫刻	岡本 鏡二	座る女	1975年	ポリエステル	1点
21	工芸	齋藤 三郎	白磁面取花瓶	—	磁器	1口
22	工芸	齋藤 三郎	辰砂こぼし文壺	—	磁器	1口
23	工芸	齋藤 三郎	染附辰砂木蓮文壺	—	磁器	1口
24	工芸	齋藤 三郎	陰刻牡丹文黄釉花瓶	—	磁器	1口
25	工芸	鈴木 六衛	しじまⅡ	1990年	陶・木・ステンレス	1点

③寄託作品

No.	分類	作家名	作品名	制作年	材質技法	員数
1	西洋画	モーリス・ユトリロ	クレミューの教会	1928年	カンヴァス・油彩	1面
2	西洋画	マリー・ローランサン	花束	1937年	カンヴァス・油彩	1面
3	西洋画	カール・ドービニー	風景	1878年	カンヴァス・油彩	1面
4	西洋画	ジュール・デュプレ	川辺の牛の群れ	—	カンヴァス・油彩	1面
5	日本画	小林 古径	蓼(習作)	昭和20年代	紙・彩色	1幅
6	日本画	小林 古径	唐黍(扇面)	大正4年頃	紙・彩色	1面
7	日本画	小林 古径	鶴	1927年頃	絹・彩色	1幅
8	日本画	安田 靱彦	紅花青華	1967年	紙・彩色	1面
9	日本画	大山 忠作	彩鱗	—	紙・彩色	1面
10	日本画	奥村 土牛	牡丹	—	絹・彩色	1幅
11	日本画	加山 又造	魚	—	紙・彩色	1面
12	日本画	北大路 魯山人	鳥かすみ網図	—	紙・彩色	1幅
13	工芸	齋藤 三郎	色絵椿文八角花瓶	1975年	色絵磁器	1口
14	工芸	齋藤 三郎	色絵辰砂椿文大壺	1975年	色絵磁器	1口
15	工芸	齋藤 三郎	色絵椿文大壺	1970年頃	色絵磁器	1口
16	工芸	齋藤 三郎	色絵雪椿文飾皿	1966年頃	色絵磁器	1枚
17	工芸	齋藤 三郎	色絵椿文壺	1975年	色絵磁器	1口
18	工芸	齋藤 三郎	白磁壺	1965年頃	磁器	1口
19	工芸	齋藤 三郎	白磁壺	1962年	磁器	1口
20	工芸	齋藤 三郎	白磁壺	1970年頃	磁器	1口
21	工芸	齋藤 三郎	白磁花瓶	1970年頃	磁器	1口
22	工芸	齋藤 三郎	白磁牡丹刻文香炉	1970年頃	磁器	1口
23	工芸	齋藤 三郎	白釉花瓶	—	陶器	1口
24	工芸	齋藤 三郎	色絵椿文徳利	1965年頃	色絵磁器	1口
25	工芸	齋藤 三郎	辰砂鉄絵牡丹文大皿	1965年頃	陶器	1枚
26	工芸	齋藤 三郎	色絵木瓜文大皿	1975年	色絵磁器	1枚
27	工芸	齋藤 三郎	色絵椿文飾皿	—	色絵磁器	1枚
28	工芸	齋藤 三郎	色絵椿文陶板	—	色絵磁器	1枚
29	工芸	齋藤 三郎	色絵こぼし文陶板	—	色絵磁器	1枚

④所管替え作品(文化振興課から)

No.	分類	作家名	作品名	制作年	材質技法	員数
1	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影-壁そして空-	1990年	テラコッタ・着色	1点
2	彫刻	峯田 敏郎	替る女	1974年	FRP樹脂	1点
3	彫刻	峯田 敏郎	ペランダの女	1975年	FRP樹脂・鉄	1点
4	彫刻	峯田 敏郎	北窓のある部屋	1978年	ブロンズ	1点
5	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影-海・ひとり-	1984年	ブロンズ・金箔	1点
6	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影-街角-	1986年	ブロンズ・金箔	1点
7	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影-北防波堤-	1991年	ブロンズ・金箔	1点
8	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影-雲が美しかったとき-	1995年	ブロンズ	1点

9	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影-夕日と風と-	1995年	ブロンズ	1点
10	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影-いつもの風-	1996年	ブロンズ	1点
11	彫刻	峯田 敏郎	おんな-佐賀-	1988年	テラコッタ	1点
12	彫刻	峯田 敏郎	おんな-富山-	1988年	テラコッタ	1点
13	彫刻	峯田 敏郎	おんな-下越-	1990年	テラコッタ	1点
14	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影-N第3埠頭-	2003年	樟、木彫・着色	1点
15	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影-西風の日-	2006年	樟、木彫	1点
16	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影-アリアのあと-	2008年	桂、木彫	1点
17	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影-風の流れる部屋-	2010年	紅松、木彫・着色	1点
18	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影-終わらないアンコール・311のアリア-	2013年	樟・桂・紅松、木彫	1点
19	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影-壁そして空-	1990年	ブロンズ	1点
20	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影-緑の風の中-	2010年	朴、木彫	1点
21	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影-女優A-	1998年	樟、木彫	1点
22	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影-白い百合のある庭 鮫ヶ尾城跡-	2016年	樟、木彫・着色	1点
23	彫刻	峯田 敏郎	旅の女-海への階段-	1995年	ブロンズ	1点
24	彫刻	峯田 敏郎	院生F	1986年	テラコッタ	1点
25	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影-終わらないアンコール・ト短調シキの歌-	2017年	桂・樟、木彫、着色	1点
26	彫刻	峯田 敏郎	想 石仏	1958年	カンヴァス・油彩	1面
27	彫刻	峯田 敏郎	ポーズする女	1979年	デッサン	1面
28	彫刻	峯田 敏郎	帽子の女	1981年	リトグラフ	1面
29	彫刻	峯田 敏郎	N第3防波堤	1979年	デッサン	1面
30	彫刻	峯田 敏郎	風の階段	1987年	デッサン	1面
31	彫刻	峯田 敏郎	風と舞う日	1985年	デッサン	1面
32	彫刻	峯田 敏郎	谷浜の海	1986年	デッサン	1面
33	彫刻	峯田 敏郎	座る女	1989年	デッサン	1面
34	彫刻	峯田 敏郎	西風の海	1989年	デッサン	1面
35	彫刻	峯田 敏郎	三つの角	1990年	デッサン	1面
36	彫刻	峯田 敏郎	街角-雨の日-	2004年	木版	1面
37	彫刻	峯田 敏郎	デッサン (熊本)	2005年	デッサン	1面
38	彫刻	峯田 敏郎	白い百合	2009年	デッサン	1面
39	彫刻	峯田 敏郎	おんな-佐賀-	1989年	デッサン	1面
40	彫刻	峯田 敏郎	上杉謙信 木彫模型	-	木彫	1点

以上 94件

(内訳) 西洋画4件、日本画19件、油彩画1件、素描1件、彫刻47件、工芸22件

(2) 展示・保存環境調査

美術館内の展示保存環境が美術作品の展示に対して適正であるかを確認するため、下記のとおり気中濃度測定を実施した。

測定項目：アンモニア、ギ酸、酢酸、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド

測定箇所：古径記念室・古径記念室展示ケース、企画展示室、企画展示室展示ケース

期 日：6月22日(火)

実施機関：一般財団法人上越環境科学センター

令和3年度には国指定文化財(重要文化財)の借用展示に伴い、独立行政法人国立文化財機構文化財活用センターの指導に基づく展示ケース及び一時保管庫内の環境測定を実施した。

測定項目：パッシブインジケーターによる空気環境測定(酸・アルカリ)

測定期間：4月20日(火)～24日(土) 96時間

測定箇所：古径記念室展示ケース(2か所)、企画展示室展示ケース(2か所)、一時保管庫(1か所)

(3) 作品・資料の貸与

展覧会名等	作家名	貸出作品	貸出期間
貸与先：上越市立歴史博物館			
「常設展 第一期」 会期：3月19日(金)～6月28日(月)	斎藤 真一	《明星 妙高谷『越後替女日記』、《杉本替女しま》、《替女 キクエと桜》、《待合所にて『替女』『越後替女日記』》	3月19日(金)～6月28日(月)
「常設展 第二期」 会期：6月29日(火)～9月15日(水)	斎藤 真一	《鴛口の雷『越後替女日記』》 《佐久の旦那『越後替女日記』》 《替女唄『越後替女日記』》	6月28日(月)～9月15日(水)
「常設展 第三期」 会期：9月15日(水)～12月22日(水)	斎藤 真一	《替女 杉本キクエ》、《杉本キクエ旅姿『越後替女日記』》、《赤倉替女『越後替女日記』》 《かとうの死『越後替女日記』》	9月14日(火)～12月22日(水)
「常設展 第四期」 会期：12月22日(水)～3月28日(月)	斎藤 真一	《西頭城の替女『越後替女日記』》 《三人替女『越後替女日記』》 《西頭城 能生の駅・待合い室にて『越後替女日記』》	12月21日(火)～3月29日(火)
貸与先：特定非営利活動法人高田替女の文化を保存・発信する会(会場：替女ミュージアム高田)			
「春の企画展」 会期：4月1日(木)～5月5日(水)	斎藤 真一	《あげ石替女・神保替女一覽『越後替女日記』》 《かとうの死》	3月31日(水)～5月6日(木)

調査研究事業等

(1) 講演会講師

団体名	日時	内容	講師	参加者数
五智歴史の里協議会（五智歴史の里会館）	6月19日(土)	第97回文化講演会「戦時中の小林古径」	笹川修一	30人
奈良大学業界説明（オンライン）	11月18日(木)	「学芸員の仕事について」	小川陽子	Zoomによる講演

(2) 依頼原稿執筆

団体名・書籍名等	掲載日	内容
上越タイムス 紙上連載 「古径と院展の作家たち」	4月29日(木) 5月2日(日) 5月5日(水) 5月7日(金) 5月9日(日)	「古径と院展の作家たち」作品紹介(全5回) 執筆者:小川陽子
新潟日報紙上記事 展覧会へようこそ「生誕90年岩野勇三彫刻展」	8月4日(水)	執筆者:市川高子
新潟日報紙上記事 展覧会へようこそ「永青文庫所蔵近代日本画名品展」	10月22日(金)	執筆者:笹川修一

(3) 展覧会図録作成

書籍名等	発行日	編集担当	執筆内容
「生誕90年 岩野勇三彫刻展」 (発行:小林古径記念美術館)	令和3年	市川高子 伊藤舞実	市川高子「岩野勇三における民俗的テーマの作品について」「各章扉解説」「主要参考文献」「年譜」 伊藤舞実「年譜」
「永青文庫所蔵 近代日本画名品展」 (発行:小林古径記念美術館)	令和3年	笹川修一 小川陽子	笹川修一「細川護立と小林古径」「作品解説」「各章扉解説」 小川陽子「作品解説」「作家略歴」
「生誕100年 富岡惣一郎展」(令和4年度) (発行:小林古径記念美術館)	令和3年	小川陽子 市川高子	小川陽子「各章扉解説」「作家略年譜」 市川高子「各章扉解説」
「生誕100年 斎藤真一展」(令和4年度) (発行:小林古径記念美術館)	令和3年	笹川修一	笹川修一「音楽を奏でる絵画」「各章扉解説」「作品解説」「年譜」

(4) 展覧会調査及び作家作品調査

内容	調査日	担当	場所
岩野勇三作品調査	4月20日(火)	市川高子	作家宅(東京)
岩野勇三展調査	5月12日(水)	市川高子	大島区個人宅、大島区総合事務所(市内)
永青文庫展作品調査・写真撮影	5月26日(水)	笹川修一	永青文庫(東京)
小林古径ほか作品寄託希望者の所蔵調査	6月9日(水)	宮崎俊英・笹川修一	所蔵者宅(市内)
永青文庫展調査	6月24日(木)	宮崎俊英・笹川修一	赤倉天心山荘(妙高市)
笹川春舛作品調査	6月30日(水)	宮崎俊英・伊藤舞実	さくら会館(市内)
小林古径、齋藤三郎作品調査	8月12日(木)	宮崎俊英・笹川修一	所蔵者宅(市内)
齋藤三郎作品寄贈調査	8月20日(金)	宮崎俊英・市川高子	所蔵者宅(市内)
永青文庫展展示作品勉強会(前期展) (講師:上越教育大学 洞谷亜里佐教授)	10月18日(月)	笹川修一・市川高子・ 伊藤舞実・小川陽子	小林古径記念美術館展示室
永青文庫展展示作品勉強会(後期展) (講師:上越教育大学 洞谷亜里佐教授)	11月16日(火)	笹川修一・市川高子・ 伊藤舞実・小川陽子	小林古径記念美術館展示室
原本賢治作品調査	11月29日(月)	宮崎俊英・笹川修一	光樹寺(市内)
斎藤真一展調査	12月11日(土)	笹川修一	ギャラリー朱雀院(東京)
富岡惣一郎展調査	12月11日(土)	小川陽子	富岡惣一郎遺族(東京都内)
鈴木六衛作品調査	12月14日(火)	宮崎俊英	作家遺族宅(市内)
富岡惣一郎作品調査	12月14日(火)	宮崎俊英・市川高子・ 小川陽子	南本町小学校(市内)
富岡惣一郎作品調査	12月15日(水)	市川高子・小川陽子	高田商業高校(市内)
堀川紀夫作品調査	12月15日(水)	市川高子・伊藤舞実	作家宅(市内)
石橋犀水作品調査	12月17日(金)	宮崎俊英	吉川小学校(市内)
屏風作品調査	12月18日(土)	宮崎俊英・笹川修一	所蔵者宅(市内)
上越市役所内富岡作品(アルミエッチング)調査・写真撮影	1月11日(火)	市川高子・小川陽子	上越市役所(市内)
峯田敏郎作品調査	1月18日(火)	宮崎俊英・市川高子	高田まちかど交流館(市内)
富岡惣一郎作品調査	1月19日(水)	宮崎俊英・小川陽子	ギャラリー葵(市内)
富岡惣一郎作品(緞帳)調査	1月22日(土)	小川陽子	上越文化会館(市内)
富岡惣一郎作品・資料調査	1月25日(火)	市川高子・小川陽子	南魚沼市トミオカホワイト美術館(南魚沼市)
「芸能科の記憶展」調査 新潟大学教育学部(五十嵐キャンパス)、戸張幸男・公晴作品調査	2月10日(木)	市川高子・伊藤舞実	新潟大学五十嵐キャンパス(新潟市) 作家宅(新潟市)
濱口剛作品調査	2月14日(月)	市川高子	作家宅(市内)
山本祥二郎作家調査	2月15日(火)	伊藤舞実	作家宅(市内)
「芸能科の記憶展」調査 金谷範子作家調査	2月18日(金)	伊藤舞実	小林古径記念美術館内
前山忠作品調査	2月21日(月)	市川高子	作家宅(市内)
横尾元則作品調査	2月22日(火)	市川高子	作家宅(市内)
斎藤真一展調査(お春替女之碑)	2月26日(土)	笹川修一	出雲崎町
白井一郎作家調査	3月2日(水)	市川高子	作家宅(市内)
「芸能科の記憶展」作品調査	3月3日(木)	市川高子・伊藤舞実	上越市立城北中学校

(5) 研究会・研修等

研修名	日時	担当	会場
新潟県博物館協議会学芸員等研修会	11月19日(金) 10:00~12:45	宮崎俊英	小林古径記念美術館 上越市立歴史博物館
全国美術館会議小規模館研究会第51回研修会・会合	12月7日(火)・8日(水)	笹川修一 伊藤舞実	静岡県掛川市
全国美術館会議第36回学芸員研修会「なぜいま、地域美術を研究するのか」「地方」への視点と地域美術研究の実践例(地域美術研究会)	3月10日(木) 13:15~17:00	笹川修一 市川高子	オンライン参加

広報活動等

(1)上越市有線放送協会「小林古径記念美術館を訪ねて」

内 容	放送日	担当
「古径と院展の作家たち」紹介（イベント含む）	4月1日(木)	小川陽子
国際博物館の日無料入館（5/18） どうワークショップ、よちよちタイム	5月6日(木)	伊藤舞実
お得な入館券のご案内（年間入館券・5館共通券） 友の会入会のご案内	6月3日(木)	笹川修一
「生誕90年岩野勇三展」紹介	7月1日(木)	市川高子
岩野勇三展イベント	8月5日(木)	市川高子
小林古径邸の見どころ紹介	9月2日(木)	小川陽子
「永青文庫所蔵近代日本画名品展」紹介（イベント含む）	10月7日(木)	笹川修一
永青文庫展後期展ご案内 紅葉ライトアップ	11月4日(木)	笹川修一
「第50回上越市美術展覧会記念作品展」紹介	12月2日(木)	伊藤舞実
「コレクション展 白の世界」紹介	1月6日(木)	伊藤舞実
キャンドルナイトのご案内	2月3日(木)	市川高子
次回展覧会、準備中です！（生誕100年 富岡惣一郎展）	3月3日(木)	小川陽子

(2)FM じょうえつほか

内 容	放送日	担 当
広報]ステーション「古径と院展の作家たち」	4月14日(水)	小川陽子
広報]ステーション「岩野勇三展」	7月19日(月)	市川高子
有線放送 市政の窓「永青文庫展」	9月16日(日)	小川陽子
広報]ステーション「白の世界」	1月25日(火)	伊藤舞実
FM 公開生放送 あの頃青春グラフィティー 「小林古径と小林古径記念美術館の紹介」	3月26日(土)	笹川修一

(3)美術館ホームページアクセス数と SNS (Facebook) 投稿数とフォロワー数

	美術館ホームページ	SNS (Facebook)	
	ページビュー数	投稿件数	一番反応のあった投稿（閲覧数）
4月	4,349回	6件	結婚式の前撮り大歓迎（433）
5月	5,353回	6件	ヨリ・ミチ図工室の参加者募集！（457）
6月	4,721回	5件	「古径と院展の作家たち」がまもなく終了します（443）
7月	4,353回	12件	勇三のふるさと・大島区さとがえり展（1402）
8月	4,124回	11件	「岩野勇三彫刻展」みどころ紹介①（1196）
9月	5,063回	4件	臨時休館のお知らせ（721）
10月	11,918回	17件	親子講座「作品をみて秋の和菓子をつくろう」（439）
11月	6,660回	8件	教育コラボ 2021 学び愛フェスタ（260）
12月	3,545回	4件	12月は美術館の入館料が無料です（676）
1月	4,614回	4件	「白の世界展」作品リストを公開します（201）
2月	3,687回	2件	まん延防止等重点措置延長に伴うイベントの中止について（123）
3月	5,505回	9件	「富岡惣一郎展」を開催します（269）

(4)特集記事

内 容	掲載誌名	備考
いごなう古径の世界	新潟日報 Otona +（おとなプラス）	2021年10月14日(木)掲載
白雪、徑流、彩墨郷 新潟小林古径記念美術館	『美術家』554号（台湾・藝術家雑誌社）	2021年7月発行
特集 令和3年度日事連建築賞 小林古径記念美術館	『日事連』2021年10月号	2021年10月発行
令和3年度日事連建築賞受賞作品紹介国土交通大臣賞（小規模建築部門） 小林古径記念美術館	『日事連』2021年11月号	2021年11月発行

